



No. 296 今月は>> ヘアカラーの種類

Sep

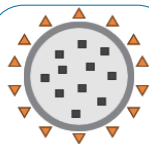


それぞれに特徴があるヘアカラー。皆さんも特徴を理解し、ヘアカラーをお楽しみください。

● 一時染毛料

→ カラーズプレー、ヘアファンデーション、マスカラ 等

特徴：簡単に色が付く・ノンダメージ・かぶれの心配も無い
 短所：シャンプーでとれる



一時染毛料

色素を髪表面に付着させ
 一時的に髪を染める

● 半永久染毛料

→ 酸性カラー（ヘアマニキュア）

特徴：色が鮮やか・かぶれの心配「無」・髪のダメージ「無」
 短所：地肌につくと取れにくい・明るい毛染めが出来ない



半永久染毛料

塗布され髪表面についた
 色素の一部が内部に
 浸透して髪を染める。

→ HC染料

特徴：多彩・かぶれの心配「少ない」・髪のダメージ「少ない」
 短所：色持ちが悪い・アルカリ性で使い続けると髪が乾燥しやすい

● 永久染毛料

→ 酸化染毛料（ヘアカラー）

特徴：豊富な色味、明るさ、ほとんどのカラーの要望に応える
 ことが出来る

短所：ジアミンアレルギーの方は染められない・髪のダメージ有
 （明るく染めたときのみ）



永久染毛剤

メラニン色素を分解、脱色。
 同時に染料が酸化して
 発色し髪を染める。

→ 金属類染毛料等

特徴：しっかり染まりジアミンアレルギーの方でも染められる
 短所：ほとんど黒に近い色味になる・パーマやトリートメント等が入らなくなる

● 植物性染料

→ ヘナ・インディゴ・藍 等

特徴：安心感がある・かぶれの心配が少ない・ダメージ少ない
 短所：明るくできない・時間がかかりすぎる・色味が一定しない



鮮明な色味や、ツヤ重視の剤、ダメージ毛、敏感肌、お客様それぞれの毛質と、その時々髪と頭皮の状態、そしてカラーの色味やツヤ等のご要望に添えるよう、あらゆる面からのカラー剤をご用意しております。

解らないことがございましたら、IMAGINEスタッフまで。

『 小豆 』

素朴な味わいの小豆。実はすごい小豆の効果、効能についてまとめてみました。

【炭水化物の代謝】

小豆に多く含まれるビタミンB1は、炭水化物の代謝をサポートする働きがあります。積極的にビタミンB1を摂取することで、代謝がスムーズになり蓄積される前にエネルギーとして消費されるようになります。

【むくみ対策】

カリウムを豊富に含む食材。カリウムはナトリウム(塩分)と深い繋がりがあり、両者のバランスによって、体内の水分バランスが変わってきます。ナトリウムを過剰摂取すると細胞に水分を溜め込み、むくみの原因になりますがカリウムを摂取することで増え過ぎた塩分を体外へ排出してくれます。

【便秘対策】

不溶性の食物繊維が多く含まれているので、腸を刺激し、ぜん動運動を促す作用が認められており、便秘対策に効果的。また、腸内で善玉菌のエサとなり、腸内環境を整える作用もあります。そして、小豆はアンチエイジング食材でもあり、ポリフェノールは赤ワインの約2倍で、残りやすく、摂取しやすいのが特徴。さらに、美白、美肌効果も期待でき、更年期障害の軽減などにも効果があります。

是非、お彼岸には小豆を使ったおはぎを食べてみてはいかがでしょうか？

〈 八戸ノ里店 濱本 〉

西井の
Beauty
column



秋になると食べたくなるさんま。さんまには美肌効果がたっぷり。

- **ビタミンA** → ニキビ予防
- **ビタミンB** → 細胞の再生、ターンオーバーを促す
- **ビタミンE** → 抗酸化作用、アンチエイジング
- **鉄分** → シミ、シワの解消、コラーゲン吸収の促進
- **EPA DHA** → モメ、肌荒れ、くすみを改善

さんまのワタには**レチノール**が含まれています。細胞の生成、肌の乾燥を防いで、シワの予防・改善コラーゲンを増やす効果もあります。美肌の為には、さんまのワタも残さず食べたいですね。

暑い夏の疲れが肌にも出やすい時期。旬の食材を食して、体の内側からもしっかりケアしてあげましょう。